

おけるレスポンスタイムの最適化の追求一」

齊藤文郎 (BSNアイネット)

実際のデータに基いての最適化の研究を発表した。

● 人間的グローバル経営システム ●

● 第14回

日時：5月9日(土) 14:00~17:00 出席者：8名

場所：東京都勤労福祉会館 (中央区新富)

テーマと講師：

「21世紀の予測」 井上喜代重 (アジア友の会)

21世紀は人類にとって3度目の変革期の後半にあたる情報革新の時代で、前半の産業革新の時代につづく時期にあたり、情報が中間財の域を脱して情報だけの文化が確立する世紀である。人類は環境汚染の急進により崩壊に瀕するとの悲観論もあるが、人類の英知により困難を克服して新しい時代を切り開くものと考え。

OR 関連ソフトに関する特集について

編集委員会では、おりにふれOR関連のソフトウェア特集の企画の可否について議論してきました。ソフトウェアの重要性は、今日誰もが認めるところであります。しかし、学会誌の公共性を考えると単に商用ソフトの宣伝の場になってはいけないという意見があり、これまで取り上げてきませんでした。

本件に関しては、何回かの議論をへて次のような趣旨をもって今後は積極的に企画していくことにしました。

- 公平をきすため、執筆者を一部公募する。ただし、提出された情報にもとづき編集委員会が指定する人に編集を依頼することもある。
- ソフトウェアの違いがわかるように、編集委員会の指定の書式により定式化を計る。このため、何度か書き直してもらうこともある。たとえば、同一の問題に対して結果を求めることもある。
- 内容により、最終的に掲載を断わることもあります。

現在考えているテーマは次のとおりである。

- 数理計画法
- シミュレーション言語
- ネットワーク計画法とOR一般
- 経営分析と表計算
- 統計・品質・時系列
- 数値計算と数式処理
- 行列言語
- 大学における言語教育とコンピュータシステム

[数理計画法特集]

数理計画法のソフトウェア特集に関しては、来年3月号を予定しています。次の要領で執筆者と協力者を募集しますので、7月末まで400字程度の内容のわかる自薦文あるいは他薦文を編集委員会まで提出してください。

執筆内容は次のとおりです。

- 数理計画法を扱うライブラリー、パッケージの開発者、代理店あるいは利用者で指定された問題を中心にして解説を書ける人。
モデルの入力、編集、管理方法などと、出力結果の説明。モデルや解の診断情報など。扱える問題の上限と、実例。その他ソフトウェアの特徴。
- 製造業や金融等における数理計画法を用いたアプリケーション事例。システムの概略とソフトウェアの特徴など。
- 教育や研究におけるユーザーの立場から見た評価や課題点。

掲載が決定したものについては、モデルやソフトを編集委員会で一時的にあずかり、他のソフトウェアと比較することもあります。

また、一般読者から、線形計画法、2次計画法、整数計画法と非線形計画法の比較評価に適した例題を募集します。

数理計画法以外のテーマについては、編集委員会でその実施手順を検討し順次案内を行ないます。読者の意見も取り入れていきたいので、情報提供をお願いします。